

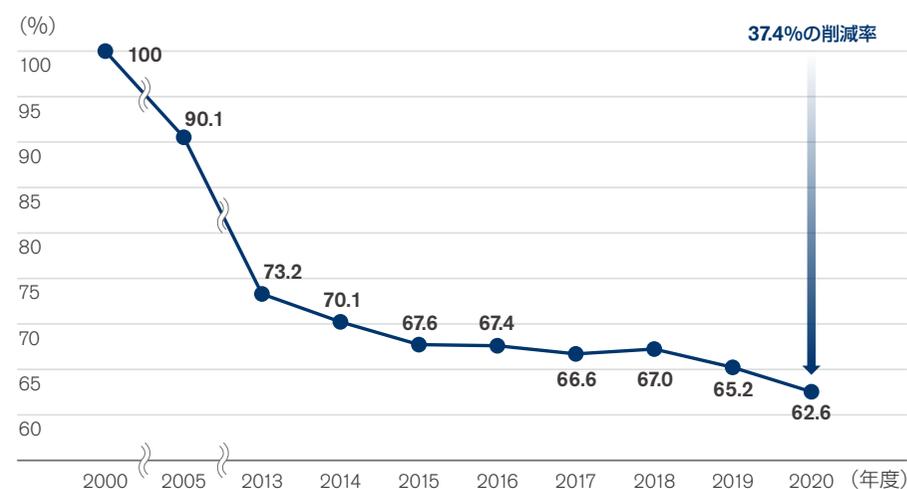
目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境データ

気候変動(製品)	228
気候変動(企業活動)	232
大気品質	239
資源依存(再利用)	241
資源依存(拠点の廃棄物)	242
水資源の管理	244
環境課題を踏まえた事業基盤の強化	246
マテリアルバランス	248
環境保全コスト	249

気候変動(製品)

新車からのCO₂排出量削減率(グローバル)*

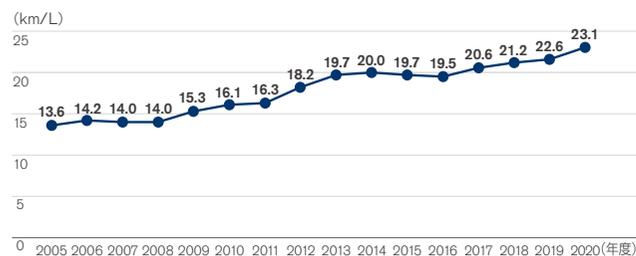


2020年度、日産の主要な市場である日本、米国、欧州、中国におけるCO₂排出量は企業平均燃費ベースで2000年度に比べ37.4%改善しました。特に米国や欧州の新型車の投入による燃費の向上により、2019年度に比べて改善しました。

* CO₂削減率は社内規定の方法で算出しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

日本における企業平均燃費 (CAFE、JC08モード)

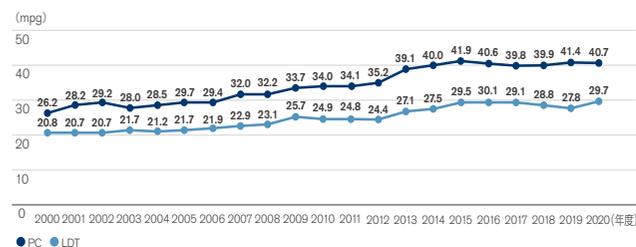


2020年度の日本における企業平均燃費は、23.1km/Lとなりました。これは、「日産キックス」

などのe-POWER車の販売割合の増加が貢献しており、2019年度に比べて2%の改善を達成しました。

* 社内で算出した暫定値を使用しており、一部車種にWLTCモードの燃費値を含みます

米国における企業平均燃費 (CAFE)



2020年度の米国における乗用車の企業平均燃費は40.7mpgとなり、2019年度に比べて2%悪化しま

した。小型トラックのセグメントにおいては新型車の投入により、企業平均燃費は27.8mpgから29.7mpgに7%向上しました。

欧州における車両平均CO₂排出量



2020年の欧州における車両平均CO₂排出量は、2019年と同じとなりました。

中国における企業平均燃料消費量



2020年は国内生産分の燃費は約4%改善、輸入車の燃費が1%改善しました。国内生産分についてはEV車の導入拡大や燃費の向上によるものです。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

売上高、グローバル販売台数および生産台数データ

(億円)			(千台)			(千台)		
	2019年度	2020年度		2019年度	2020年度		2019年度	2020年度
売上高*1	112,176	91,087	グローバル販売台数*2	4,930	4,052	グローバル生産台数*2	4,757	3,634
			日本	534	478	日本	758	517
			北米	1,620	1,213	北米*3	1,340	953
			欧州	521	391	欧州*4	508	336
			アジア	1,821	1,649	アジア*5	1,991	1,737
			その他	434	320	その他*6	160	91

*1 中国合弁会社比例連結ベース

*2 グローバル販売台数およびグローバル生産台数の中国・台湾については、1 - 12月ベースの数字

*3 米国、メキシコの生産台数

*4 英国、スペイン、ロシア、フランスの生産台数

*5 台湾、タイ、フィリピン、インドネシア、中国、インド、韓国の生産台数

*6 南アフリカ、ブラジル、エジプト、アルゼンチンの生産台数

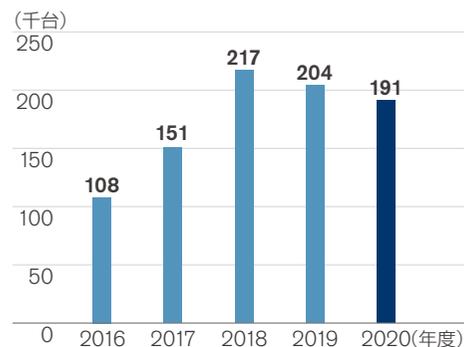
パワートレイン比率 (出荷台数ベース)

	単位	ガソリン車	ディーゼル車	e-POWER車	電気自動車	ハイブリッド車	天然ガス車
日本	%	34.5	2.3	26.2	1.9	35.1	0.1
北米	%	98.9	0.2	0.0	0.9	0.0	0.0
欧州	%	72.2	18.2	0.0	9.6	0.0	0.0
その他	%	93.3	5.5	0.1	0.7	0.4	0.0
グローバル	%	85.3	4.7	3.4	1.8	4.7	0.0

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

EV

100%EVおよび「e-POWER」販売台数*

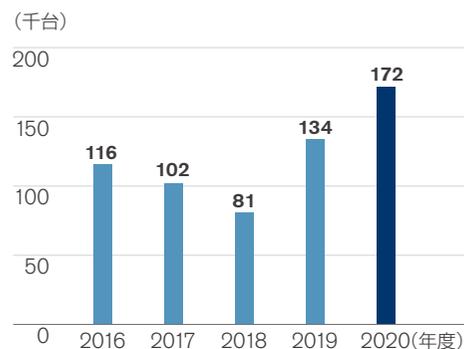


* 中国合弁会社による販売台数を含む

ハイブリッド車

GRI102-49

ハイブリッド車台数 (出荷台数ベース)

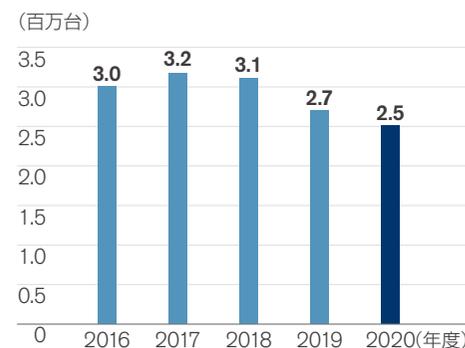


2020年は日本の軽自動車への拡大により台数が増加しました。

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

エクストロニックCVT*搭載車

エクストロニックCVT搭載車販売台数



2020年度のCVT搭載車の販売台数は247万台で、累計販売台数は3,240万台となりました。

* CVT: Continuously Variable Transmission (無段変速機)

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

気候変動（企業活動）

エネルギー投入量

GRI102-49 GRI305-1 GRI305-2 GRI305-4 GRI305-5

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*3	2020
合計	MWh	10,189,082	9,532,840	9,252,737	8,313,893	7,655,514
地域別						
日本	MWh	4,497,562	4,084,912	3,700,532	3,438,939	3,015,419
北米	MWh	2,643,303	2,452,299	2,570,438	2,180,450	1,909,902
欧州	MWh	1,093,103	1,126,186	1,048,201	913,521	888,089
その他	MWh	1,955,115	1,869,443	1,933,566	1,780,983	1,842,105
エネルギー源別						
一次エネルギー						
天然ガス	MWh	3,537,674	3,701,640	3,579,998	3,079,723	3,089,803
LPG	MWh	249,426	179,945	191,405	175,559	144,478
コークス	MWh	217,431	218,618	200,527	154,961	100,144
灯油	MWh	209,232	147,522	113,200	90,078	69,618
ガソリン	MWh	303,040	299,000	259,045	243,166	184,021
軽油	MWh	57,488	48,259	53,074	23,246	25,315
重油	MWh	43,853	27,652	15,995	16,303	22,816

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*3	2020
敷地外						
電力(購入)	MWh	5,247,663	4,755,897	4,711,467	4,384,282	3,851,011
うち再生可能 エネルギー*1	MWh	157,226	133,212	135,574	123,225	181,815
冷水	MWh	12,919	6,661	7,487	5,086	3,530
温水	MWh	4,690	5,000	5,000	2,706	2,635
蒸気	MWh	136,593	128,038	102,324	125,662	96,960
敷地内						
電力 (自家発電)	MWh	11,847	14,609	13,214	43,668	65,183
うち再生可能 エネルギー*2	MWh	11,847	14,609	13,214	43,668	65,183
うち再生可能 エネルギー総量	MWh	169,073	147,821	148,788	166,893	246,998

*1 日産が購入した電力における再生可能エネルギー量

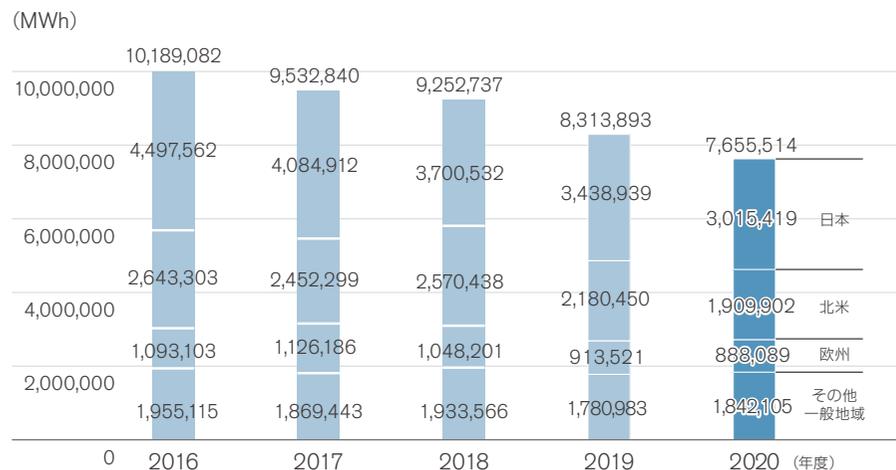
*2 日産が拠点内で発電し自社で消費した再生可能エネルギー量

*3 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49

エネルギー投入量推移



2020年度の日産のグローバル企業活動における総エネルギー使用量は7,656千MWhとなり、2019年度に比べ、8%の減少になりました。各拠点の生産台数の減少が主な要因です。生産過程におけるエネルギー使用量は6,513千MWh*でした。

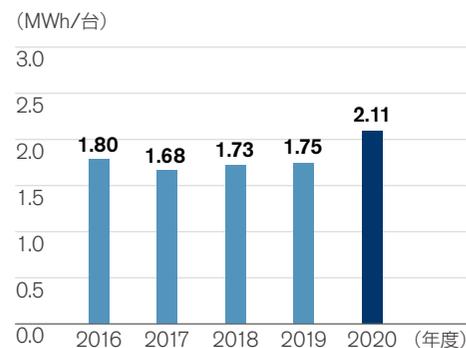
★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください

[>>> P102](#)

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

GRI302-1 GRI302-3 GRI302-4

エネルギー消費量（生産台数当たり）



2020年度の生産台数当たりのエネルギー消費量は2.11MWhとなり、2019年度より20.5%増加しました。

日本の数値には、海外で組み立てて使用するパワートレインや他の部品の製造を含みます。分母の数はそれぞれの地域で製造された生産台数であるため、数値が高くなることがあります。

地域別	単位	2020
日本	MWh/台	5.83
北米	MWh/台	2.00
欧州	MWh/台	2.64
その他	MWh/台	1.01

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI302-1 GRI302-3 GRI302-4

GRI102-49

エネルギー消費量 (売上高当たり)



2020年度の売上高当たりのエネルギー消費量は0.84MWhとなり、2019年度と比較し、13%の増加となりました。企業として経済成長がエネルギー使用に及ぼす影響を最小化する取り組みを継続しています。

企業活動におけるカーボンフットプリント

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
スコープ1	t-CO ₂	963,661	912,476	889,444	774,163	737,683
スコープ2	t-CO ₂	2,614,028	2,394,109	2,339,883	2,105,700	1,804,759
スコープ1と2	t-CO ₂	3,577,689	3,306,584	3,229,327	2,879,864	2,542,442
日本	t-CO ₂	1,579,089	1,333,335	1,208,303	1,147,686	923,892
北米	t-CO ₂	823,340	683,332	738,234	648,754	647,465
欧州	t-CO ₂	176,285	228,998	221,692	163,553	156,441
その他	t-CO ₂	998,976	1,060,920	1,061,098	919,871	814,644
スコープ3	t-CO ₂	150,462,000	213,715,000	203,106,900	173,138,601	135,068,055

2020年度のグローバル拠点からのCO₂排出量は、スコープ1とスコープ2の合計で2,542千トンとなりました。生産過程におけるCO₂排出量は1,951千トン★（スコープ1排出量599千トン★、スコープ2排出量1,353千トン★）になりました。

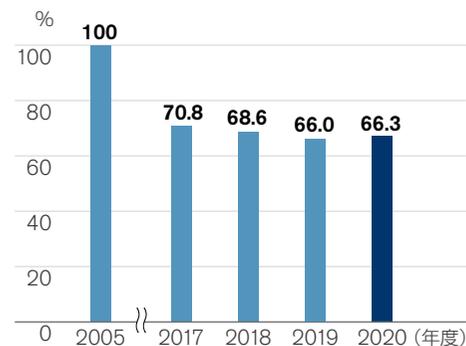
★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください

[>>> P102](#)

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

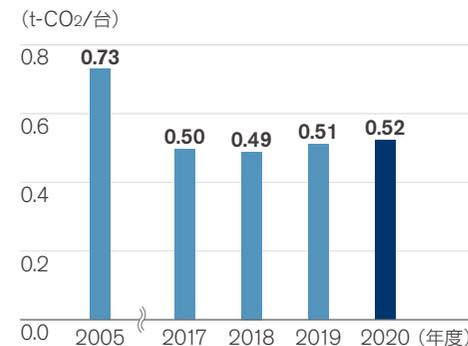
目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

企業活動からのCO₂排出量 (グローバル販売台数当たり)



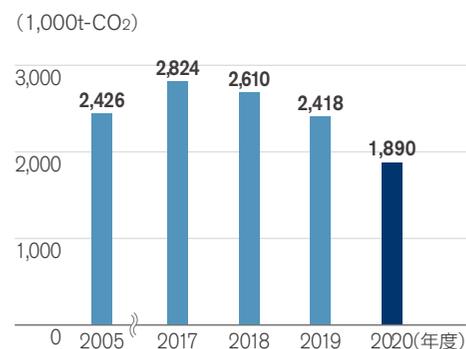
2020年度は、企業活動に伴うCO₂排出量が2005年度に比べ33.7%の削減となり、2022年の目標達成に向けて順調に推移しています。

生産活動からのCO₂排出量 (生産台数当たり)



2020年度のグローバル生産台数当たりのCO₂排出量は0.52トンとなり、2005年度比で29.7%の削減率を達成しました。

生産活動におけるカーボンフットプリント



スコープ1と2のCO₂排出量 (売上高当たり)



2020年度のグローバル拠点からの売上高100万円当たりのCO₂排出量は0.28トンとなりました。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

輸送量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
合計	百万tonkm	39,930	35,635	34,903	28,288	21,168
インバウンド*	百万tonkm	10,634	9,699	10,164	8,083	5,518
アウトバウンド*	百万tonkm	29,296	25,935	24,739	20,205	15,651
海上	%	60.9	57.6	60.9	63.8	60.2
トラック	%	24.8	25.9	23.3	23.0	25.0
鉄道	%	14.0	16.1	14.9	12.7	14.3
航空	%	0.4	0.4	0.9	0.6	0.5

* インバウンドには部品調達・KD(現地組み立て用)部品の輸送が、アウトバウンドには完成車・サービス部品の輸送がそれぞれ含まれます

2020年度はグローバル輸送量が前年比で25%減少し、211億トンキロとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響による日本、北米、欧州での生産台数減により、部品輸送量、完成車輸送量の減少が主な要因です。

物流からのCO₂排出量

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
合計	t-CO ₂	1,926,477	1,567,248	1,482,982	1,144,338	891,817
インバウンド*	t-CO ₂	809,088	739,610	762,314	582,957	392,014
アウトバウンド*	t-CO ₂	1,117,389	827,638	720,667	561,381	499,803
海上	%	17.8	20.0	19.9	21.1	20.1
トラック	%	62.1	64.6	60.3	64.1	65.9
鉄道	%	5.6	7.0	6.7	5.9	6.7
航空	%	14.5	8.4	13.1	8.9	7.4

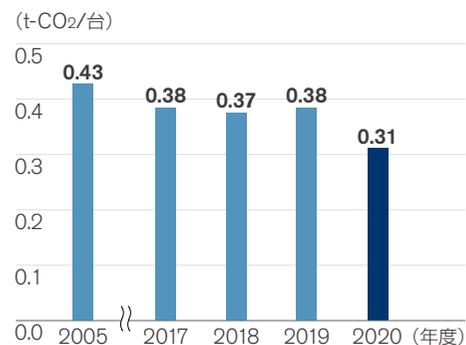
* インバウンドには部品調達・KD(現地組み立て用)部品の輸送が、アウトバウンドには完成車・サービス部品の輸送がそれぞれ含まれます

2020年度の物流からのCO₂排出量は22%減少し、89万1,817トンとなりました。新型コロナウイルス感染症の影響による日本、北米、欧州での生産台数減により、部品輸送量、完成車輸送量が減少し、CO₂排出量を大きく削減しました。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI305-3

物流からのCO₂排出量（輸送台数当たり）



2020年度は、輸送台数当たりのCO₂排出量は0.31トンとなりました。

カテゴリー別のスコープ3排出量

「温室効果ガス (GHG) 報告ガイドライン」に基づいた試算を行った結果、日産のスコープ3からのCO₂排出量の約90%は、製品であるクルマの使用によるものでした。

項目	単位	2020
1. 購入した製品・サービス	kt-CO ₂	12,726★
2. 資本財	kt-CO ₂	791
3. 燃料およびエネルギー関連活動	kt-CO ₂	264
4. 輸送、配送（上流）	kt-CO ₂	392
5. 事業から出る廃棄物	kt-CO ₂	126
6. 出張	kt-CO ₂	27
7. 雇用者の通勤	kt-CO ₂	162
8. リース資産（上流）	kt-CO ₂	0
9. 輸送、配送（下流）	kt-CO ₂	560
10. 販売した製品の加工	kt-CO ₂	7
11. 販売した製品の使用	kt-CO ₂	119,431★
12. 販売した製品の廃棄	kt-CO ₂	272
13. リース資産（下流）	kt-CO ₂	309
14. フランチャイズ	kt-CO ₂	0
15. 投資	kt-CO ₂	0
合計	kt-CO ₂	135,067

★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください

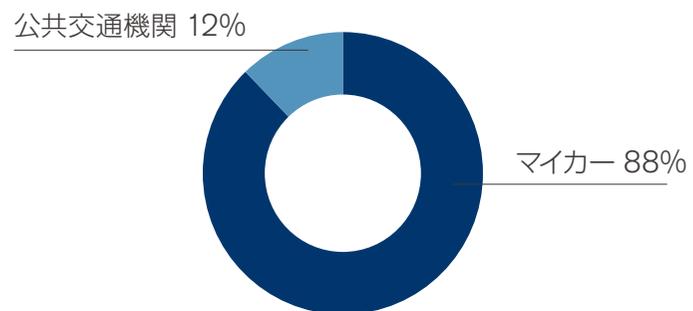
[>>> P102](#)

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

カーボנקレジット

欧州における排出権取引において、日産モーター・イベリカ会社（スペイン：バルセロナ、カンタブリア）の生産拠点が対象となっています。2020年度に認証を受けたクレジット量は2万6,153トンとなりました。

通勤からのCO₂排出量



日本では2013年度、マイカー通勤をしている全従業員を対象に、CO₂削減プログラムを導入し、エンジン搭載車から電気自動車への乗り換えを促進しています。2020年度のマイカー通勤によるCO₂排出量は約2万3,800トン*で、1台当たりの排出量は年間2.8トンです。

*自動車認証データおよび以下の条件に基づいて算出
 日本における自動車での通勤距離の平均：年間9,358km/台
 ガソリン車のCO₂排出係数（日本国温室効果ガスインベントリ報告書2009）：0.33 kgCO_{2e}/km
 電力のCO₂排出係数（東京電力株式会社（2019年度））：0.000441t-CO₂/kWh
 日本の事業所および製造工場の従業員が対象（2020年度）

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

大気品質

エミッション

GRI305-7 GRI306-4

2020年度に生産拠点から排出されたNOx、SOxの量は364トン、10トンになりました。2020年度は全体の生産量減少に伴い、NOx、SOxとも減少しています。

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019	2020
窒素酸化物 (NOx)	ton	430	619	418	380	364
硫黄酸化物 (SOx)	ton	31	36	34	14	10

揮発性有機化合物 (VOC) 排出量

2020年度のVOC 総排出量は4,742トンとなり、新型コロナウイルス感染症の影響による生産台数減のため2019年度より減少となりました。水系塗料、VOC含有率の低い物質への切り替えなどの活動は継続しています。

(年度)

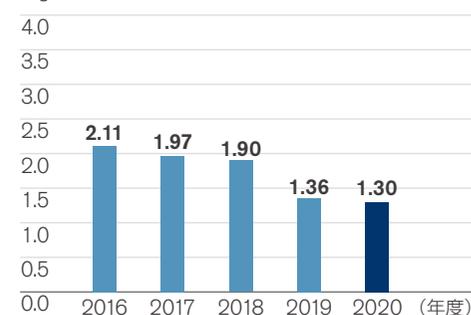
	単位	2016	2017	2018	2019	2020
合計	ton	11,933	10,564	8,433	6,465	4,742

日本	ton	3,580	3,232	2,188	2,016	1,420
北米	ton	4,851	4,284	3,847	3,135	2,294
欧州	ton	3,502	3,048	2,397	1,315	1,028

*再集計を実施し、2017年、2018年の排出量を訂正しました

VOC排出量 (生産台数当たり)

(kg/台)



2020年度の生産台数当たりのVOC排出量は1.30kgとなりました。

(年度)

地域別	単位	2020
日本	kg/台	2.74
北米	kg/台	2.40
欧州	kg/台	3.05

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49

PRTR対象物質排出量*(日本)

2019年度の化学物質排出移動量届出制度 (PRTR:Pollutant Release and Transfer Register) 対象物質の排出量は3,313トンで、2018年度に比べて減少となりました。

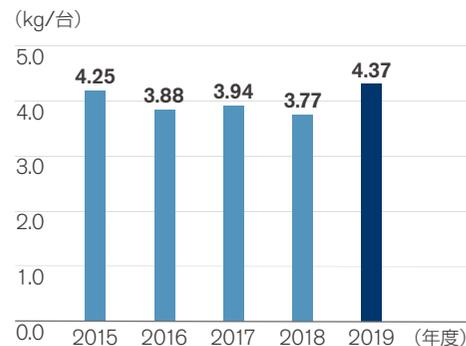
(年度)

	単位	2015	2016	2017	2018	2019
国内拠点合計 *1	ton	3,610	3,943	3,883	3,398	3,313
追浜工場	ton	488	872	796	715	1,022
栃木工場	ton	1,435	1,179	920	655	467
日産自動車九州株式会社	ton	1,173	1,406	1,697	1,573	1,391
横浜工場 *1	ton	12	17	20	25	21
いわき工場	ton	132	144	62	54	62
日産テクニカルセンター	ton	370	325	388	378	351

* 日本のPRTR のガイドラインに基づいて算出。PRTR 取扱量から製造品としての搬出量を除いた総排出量

*1 横浜工場の数字集計方法を他工場と統一したことにより、過去の数字に変更が生じています

PRTR 対象物質排出量 (生産台数当たり/日本)



2019年度の生産台数当たりのPRTR 対象物質排出量は4.37kgとなり、2018年度に比べ増加となりました。

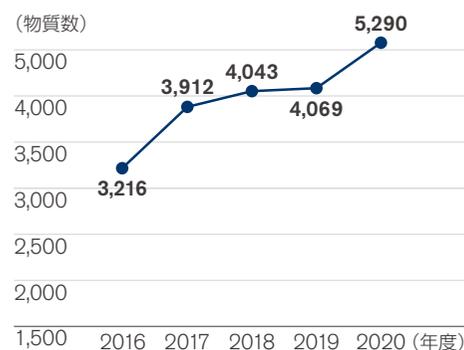
* 横浜工場の数字集計方法を他工場と統一したことにより、過去の数字に変更が生じています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

資源依存（再利用）

化学物質の適正な利用

GRI301-2 GRI301-3



ルノーとの提携のもとハザードやリスクの選定基準を法令遵守以上のレベルで見直しを行っており、世界で検討が進んでいる物質も積極的に制限しています。その結果、2020年度の指定化学物質数は5,290へと増加しています。

これは将来のリペア、リユース、リビルト、リサイクルといった資源の循環に必要な取り組みと考えています。

* 化学物質のガバナンスに関する詳細は以下のページをご覧ください
[>>> P093](#)

クルマでの再生樹脂の利用

日産はクルマへの再生樹脂の使用拡大を技術開発も含め取り組んでいます。2020年度は、日産車1台に使用する樹脂のうち再生樹脂の割合は5%となりました。この実績は欧州における最量販車をもとに算出しています。

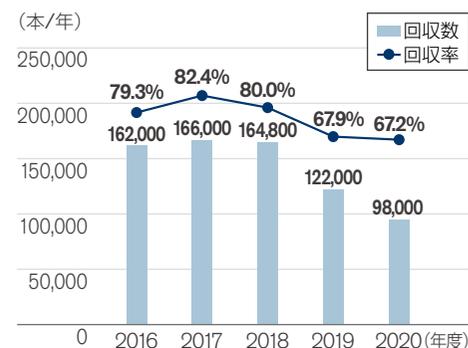
シュレッダーダストの最終処分率

日本の自動車リサイクル法に基づいてリサイクル率向上に取り組む拠点が増えた結果、使用済み自動車（ELV）より鉄類および非鉄金属を除いた自動車シュレッダーダスト（ASR）の最終処分率は、2020年度もゼロを達成しました。

材料比率

日産車に使用する材料は、重量比で鉄61%、非鉄13%、樹脂15%、その他12%（2020年実績）で構成されています。日産は、天然資源使用量をさらに低減するため、それぞれの材料に関し再生材の使用拡大に向けた取り組みを進めています。

バンパー回収本数推移



目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49

資源依存（拠点の廃棄物）

廃棄物発生量

GRI306-2

2020年度にグローバルに発生した廃棄物の量は15万3,160トンとなり、2019年度の19万9,470トン*より減少しました。

2020年度の生産工場の廃棄物発生量は14万5,529トン*となりました。

★ KPMGあずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P102](#)

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
合計	ton	158,939	152,674	206,645	199,470	153,160

地域別内訳						
日本	ton	61,115	61,327	69,829	63,294	48,921
北米	ton	45,459	35,177	64,514	58,970	48,043
欧州	ton	41,110	45,268	49,662	50,205	31,868
その他	ton	11,255	10,903	22,639	27,001	24,328

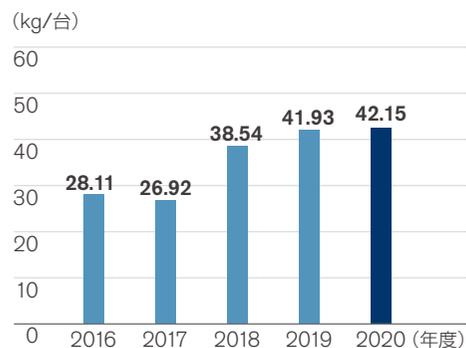
処理方法別内訳						
廃棄物最終処分量	ton	8,707	8,041	7,231	6,365	6,539
リサイクル量	ton	150,231	144,633	199,414	193,105	146,621

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

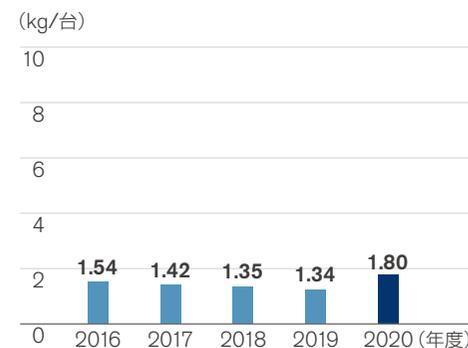
GRI102-49

廃棄物発生量 (生産台数当たり)



2020年度の生産台数当たりの廃棄物発生量は42.15kgに増加しました。

廃棄物最終処分量 (生産台数当たり)



2020年度の生産台数当たりの廃棄物最終処分量は1.80kgとなり、2019年度より増加しました。

(年度)

地域別	単位	2019	2020
日本	kg/台	83.50	94.62
北米	kg/台	44.01	50.41
欧州	kg/台	98.83	94.85
その他	kg/台	12.55	13.31

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

水資源の管理

企業活動での取水量

GRI102-49 GRI303-1 GRI303-3 GRI303-4

2020年度の企業活動における取水量は21,159千m³となり、2019年度より11%の減少となりました。また、生産工場の取水量は20,542,337m³*でした。

★ KPMG あずさサステナビリティ株式会社により保証を受けています。詳細はこちらをご覧ください
[>>> P102](#)

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
合計	1,000m ³	29,118	26,197	26,420	23,656	21,159
日本	1,000m ³	15,563	13,115	13,022	11,918	10,797
北米	1,000m ³	5,483	4,905	4,930	4,768	3,888
欧州	1,000m ³	2,299	2,155	2,093	1,792	1,373
その他	1,000m ³	5,774	6,023	6,376	5,178	5,101

排水時のクリーン化を徹底

日産の各工場では、廃水処理の徹底を推進しています。

(年度)

	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
合計	1,000m ³	20,516	17,410	17,345	15,391	13,624
日本	1,000m ³	12,681	10,376	10,472	9,496	8,474
北米	1,000m ³	4,028	3,382	3,190	2,746	2,351
欧州	1,000m ³	1,767	1,564	1,539	1,389	1,094
その他	1,000m ³	2,040	2,088	2,143	1,760	1,705

水質

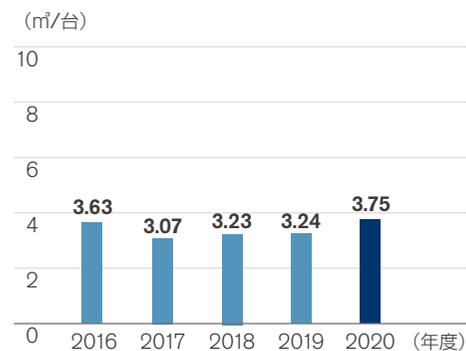
	単位	2016	2017	2018	2019*	2020
化学的酸素要求量 (COD) 日本のみ	kg	29,730	26,451	21,149	18,795	14,865

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49 GRI303-4 GRI306-1

企業活動での排水量（生産台数当たり）



2020年度の生産台数当たりの排水量は3.75m³となり、2019年度に比べて16%の増加となりました。

地域別	単位	2019*	2020
日本	m³/台	12.53	16.39
北米	m³/台	2.05	2.47
欧州	m³/台	2.73	3.26
その他	m³/台	0.82	0.93

* 新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

日本の数値には、海外で組み立てて使用するパワートレインや他の部品の製造を含みます。分母の数はそれぞれの地域で製造された生産台数であるため、日本の数値が他の地域よりも高くなる場合があります。

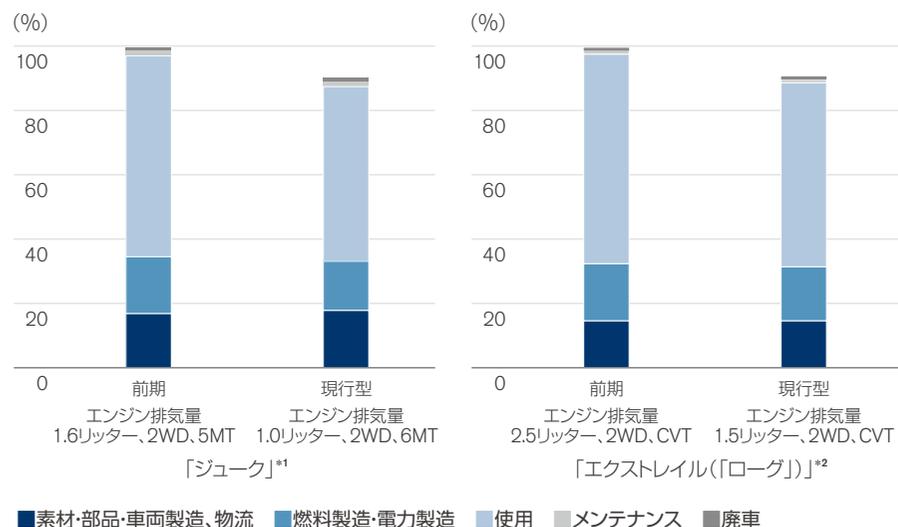
目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境課題を踏まえた事業基盤の強化

グローバルトップ販売モデルのLCA改善

日産はLCA手法の適用を進め、環境負荷の定量的な把握範囲を、影響の大きいグローバルのトップ販売モデルへと広げており、台数ベースでのカバレッジは、グローバルで約80%、欧州では約90%に達しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量 (CO₂, CH₄, N₂O など)



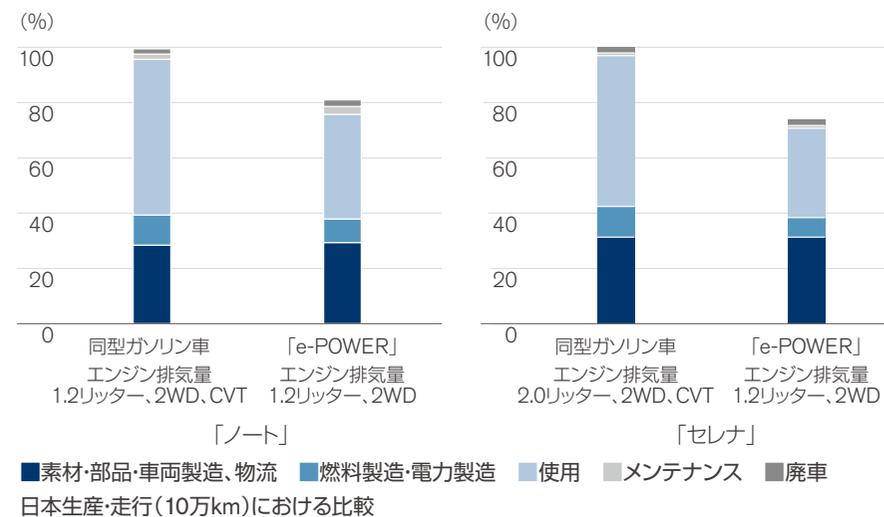
*1 欧州生産・走行(15万km)における比較
*2 米国生産・走行(12万マイル)における比較

「e-POWER」におけるLCA比較

2016年に新パワートレインの「e-POWER」を投入し、ライフサイクルにおける環境負荷を低減しながら車両の電動化をさらに推進しています。

例えば、「ノート e-POWER」「セレナ e-POWER」では同型のガソリン車と比較して19%、27%以上のCO₂排出の削減を達成しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量 (CO₂, CH₄, N₂O など)



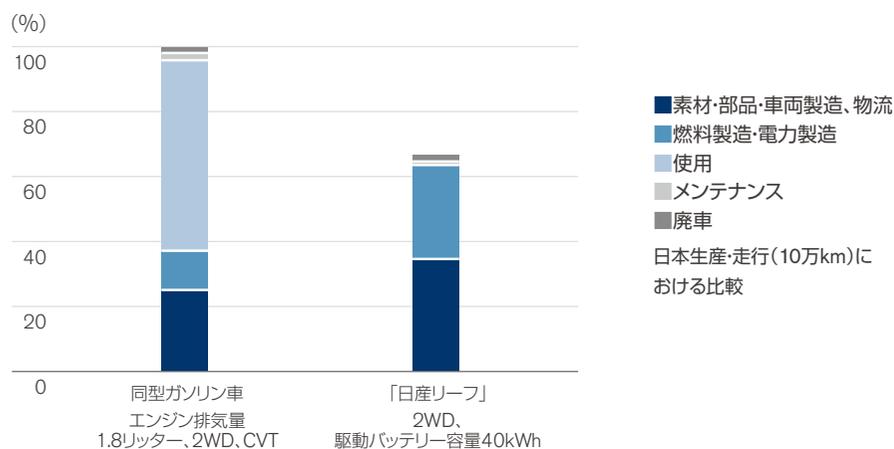
日本生産・走行(10万km)における比較

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

新型「日産リーフ」におけるLCA比較

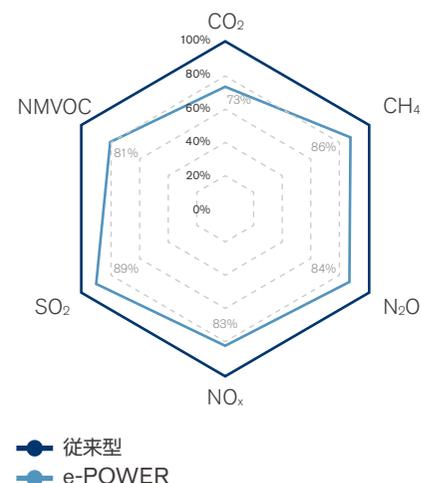
新型「日産リーフ」は日本の同型のガソリン車と比べ、ライフサイクルにおけるCO₂排出量を約32%削減しています。EVの製造段階でのCO₂等価排出量を抑制するために、材料の歩留まりや生産工程の効率向上、さらにリサイクル由来の原材料の活用といった活動を継続して推進しています。

ライフサイクルでのCO₂等価排出量 (CO₂, CH₄, N₂O など)



ライフサイクル評価における地球温暖化以外の貢献

新型「セレナ e-POWER」のライフサイクル評価



日本生産・走行(10万km)における比較

大気汚染、海洋酸性化、富栄養化といった社会的懸念が高まることを背景に、日産はLCA評価のスコープを温室効果ガス以外の化学物質へと拡大しています。試算結果によると、新型「セレナ e-POWER」は現行のガソリンエンジン車と比較し、削減対象とする全化学物質において11~27%の排出量削減をライフサイクルで達成しており、総合的な環境貢献を示す結果を得ることができました。

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-49	GRI301-1	GRI302-1	GRI303-1	GRI305-1	GRI305-2	GRI305-7	GRI306-1
							GRI306-2

マテリアルバランス

投入量

(年度)

	単位	2019	2020
原材料	ton	5,818,699	4,665,300
エネルギー	MWh	8,313,893*	7,655,514
うち再生可能エネルギー	MWh	166,893*	246,998
水	1,000m ³	23,656*	21,159

*新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

生産量／排出量

(年度)

	単位	2019	2020
車両生産			
グローバル生産台数	千台	4,757	3,634
CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,879,864*	2,542,442
排水量	1,000m ³	15,391*	13,624
エミッション			
NO _x (窒素酸化物)	ton	380	364
SO _x (硫黄酸化物)	ton	14	10
VOC (揮発性有機化合物)	ton	6,465	4,742
廃棄物発生量			
リサイクル量	ton	193,105*	146,621
廃棄物最終処分量	ton	6,365*	6,539

*新型コロナウイルス感染症に伴う生産拠点やオフィスの休業等の影響により、サステナビリティレポート2020では2019年度データが確定していなかったため、今回のサステナビリティレポート2021では、2019年度データも更新しています

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	カーボンニュートラル/ 新型コロナウイルスへの対応	取締役会議長 メッセージ	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・ 三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	編集方針	TCFD対照表	GRI内容索引	投資家向け索引

環境保全コスト

(年度)

	単位	2019		2020	
		投資	コスト	投資	コスト
総額	百万円	2,538	183,578	1,822	151,675
事業エリア内コスト	百万円	15	1,790	15	1,601
上・下流コスト	百万円	0	639	0	517
管理活動コスト	百万円	0	8,973	0	12,131
研究開発コスト	百万円	2,523	172,011	1,807	137,296
社会活動コスト	百万円	0	146	0	92
環境損傷対応コスト	百万円	0	19	0	39

(年度)

	単位	2019	2020
総額	百万円	6,207	5,466
費用削減額	百万円	540	408
収益額	百万円	5,667	5,058

* 環境保全コストは環境省の「環境会計ガイドライン」に準じて算出され、日本国内の活動分のみを示しています